



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社
コード番号 3945 URL <https://www.superbag.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 04-2938-1244

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,490	5.5	380		403		323	
2023年3月期第2四半期	11,843	1.8	64		60		83	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 498百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 1百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	211.79	
2023年3月期第2四半期	54.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,776	3,483	23.5
2023年3月期	14,125	2,985	21.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,470百万円 2023年3月期 2,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				0.00	0.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	6.1	950	111.1	990	109.7	740	56.4	484.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,686,154 株	2023年3月期	1,686,154 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	158,159 株	2023年3月期	157,953 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,528,093 株	2023年3月期2Q	1,528,279 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の正常化が進み、国内の経済活動は回復基調で推移いたしました。一方、欧米諸国の金融引締め政策による景気減速や物価高による個人消費の落ち込み懸念、ウクライナ問題をはじめとした世界情勢の悪化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、原材料価格の高止まり、円安進行といった外部要因の影響は続いているものの、人流の活発化・インバウンド消費により包装資材需要は増加傾向にあるほか、段ボール製宅配資材の紙袋化の流れを受け、紙製品事業は好調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは2021年6月30日に公表した中期経営計画『次世代パッケージ企業への転換』の最終年度にあたり、『環境対応と成長基盤確立のための3ヵ年～本気の変革～』を基本方針とし、事業構造改革の完遂に向けて、「事業構造の転換」、「新規事業の発掘」、「コスト削減」、「業務運営の効率化」、「組織・人員の見直し」などの取り組みを加速し、環境戦略の強化、構造改革の徹底に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,490百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益380百万円（前年同四半期は営業損失64百万円）、経常利益403百万円（前年同四半期は経常損失60百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益323百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失83百万円）となり、第2四半期連結累計期間としては2018年3月期以来となる黒字決算となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用286百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、国内における個人消費の回復もあり、主力の角底袋、宅配袋、手提袋、紙器の販売が引き続き堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ762百万円増加して6,616百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料費が増加したものの、調達先の見直し、紙製品事業へのリソース集中・生産体制の効率化に伴う利益率の向上により、前年同期に比べ237百万円増加して518百万円となりました。

「化成事業」

化成事業につきましては、環境意識の高まりから、包装資材の紙化の流れが継続し、売上高は前年同期に比べ267百万円減少して2,667百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、価格改定による粗利益率の向上のほか、数年来取り組んだ固定費の削減、不採算事業の整理により、収益性の大幅改善・黒字化を達成し、前年同期に比べ166百万円増加して72百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しております。売上高は前年同期に比べ152百万円増加して3,206百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品が減少し、レジ用品が増加しております。セグメント利益（営業利益）は粗利益額が増加したことから、前年同期に比べ24百万円増加して76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ651百万円増加して14,776百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が220百万円増加、売掛金が249百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ503百万円増加の10,324百万円となりました。固定資産は、減価償却で115百万円減少、繰延税金資産が62百万円減少した一方、設備投資等により157百万円増加、投資有価証券の時価評価額が205百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ148百万円増加の4,452百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ153百万円増加して11,292百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が215百万円減少した一方、短期借入金及び長期借入金が371百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ498百万円増加して3,483百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により323百万円増加、その他有価証券評価差額金が143百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の21.0%から23.5%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,367百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円増加しております。その内訳は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、6百万円（前年同四半期は266百万円の減少）となりました。

これは、売上債権の増加207百万円、仕入債務の減少315百万円等資金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益402百万円、減価償却費115百万円等資金が増加したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、134百万円（前年同四半期は64百万円の減少）となりました。

これは、投資有価証券及び固定資産の取得による支出132百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、321百万円（前年同四半期は497百万円の増加）となりました。

これは、リース債務の返済による支出49百万円等資金が減少したものの、借入金が純額で371百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績を勘案し、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,193	2,414
受取手形	208	190
売掛金	3,622	3,871
電子記録債権	746	722
商品及び製品	2,204	2,327
仕掛品	324	286
原材料及び貯蔵品	380	328
その他	140	182
流動資産合計	9,821	10,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,547	4,609
減価償却累計額	△3,864	△3,913
建物及び構築物(純額)	682	695
機械装置及び運搬具	6,914	7,014
減価償却累計額	△6,370	△6,426
機械装置及び運搬具(純額)	543	588
土地	644	644
リース資産	543	516
減価償却累計額	△370	△362
リース資産(純額)	172	153
建設仮勘定	8	16
その他	433	441
減価償却累計額	△415	△420
その他(純額)	17	20
有形固定資産合計	2,068	2,118
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	0	2
その他	16	10
無形固定資産合計	31	28
投資その他の資産		
投資有価証券	1,548	1,728
差入保証金	108	107
退職給付に係る資産	368	366
繰延税金資産	132	70
その他	51	37
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	2,203	2,304
固定資産合計	4,304	4,452
資産合計	14,125	14,776

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,766	2,550
電子記録債務	2,821	2,721
短期借入金	1,321	1,515
リース債務	143	130
未払金	395	435
未払法人税等	102	90
未払消費税等	39	75
契約負債	30	20
賞与引当金	198	201
設備関係電子記録債務	13	48
設備関係未払金	6	3
その他	123	148
流動負債合計	7,962	7,942
固定負債		
長期借入金	2,267	2,444
リース債務	227	198
役員退職慰労引当金	34	38
退職給付に係る負債	647	668
固定負債合計	3,177	3,350
負債合計	11,139	11,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,241	1,241
利益剰余金	275	598
自己株式	△263	△264
株主資本合計	2,627	2,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206	349
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	148	184
退職給付に係る調整累計額	△10	△14
その他の包括利益累計額合計	344	519
非支配株主持分	13	13
純資産合計	2,985	3,483
負債純資産合計	14,125	14,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	11,843	12,490
売上原価	9,744	10,009
売上総利益	2,098	2,480
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,100	1,078
給料及び手当	583	567
賞与引当金繰入額	91	99
退職給付費用	28	22
賃借料	79	65
旅費及び交通費	28	30
その他の経費	252	236
販売費及び一般管理費合計	2,163	2,100
営業利益又は営業損失(△)	△64	380
営業外収益		
受取配当金	20	21
持分法による投資利益	36	28
受取賃貸料	2	11
その他	3	10
営業外収益合計	63	71
営業外費用		
支払利息	42	39
為替差損	12	3
その他	3	6
営業外費用合計	58	49
経常利益又は経常損失(△)	△60	403
特別利益		
固定資産売却益	7	0
リース債務解約益	0	—
助成金収入	1	0
特別利益合計	9	0
特別損失		
固定資産除却損	6	1
固定資産売却損	3	—
特別損失合計	10	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△60	402
法人税、住民税及び事業税	16	76
法人税等調整額	6	3
法人税等合計	23	79
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83	323
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△83	323

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83	323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	143
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	39	25
退職給付に係る調整額	7	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	14	11
その他の包括利益合計	82	175
四半期包括利益	△1	498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2	498
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△60	402
減価償却費	121	115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	20	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7	22
受取利息及び受取配当金	△20	△21
支払利息	42	39
持分法による投資損益(△は益)	△36	△28
固定資産売却損益(△は益)	△3	△0
固定資産除却損	6	1
売上債権の増減額(△は増加)	207	△207
棚卸資産の増減額(△は増加)	△321	△32
仕入債務の増減額(△は減少)	△135	△315
未収入金の増減額(△は増加)	△16	△2
未払債務の増減額(△は減少)	14	61
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14	35
差入保証金の増減額(△は増加)	△14	△0
その他	△86	△25
小計	△287	44
利息及び配当金の受取額	62	94
利息の支払額	△44	△39
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	2	△93
営業活動によるキャッシュ・フロー	△266	6
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
固定資産の取得による支出	△78	△124
固定資産の売却による収入	15	0
固定資産の除却による支出	△1	△0
差入保証金の回収による収入	0	0
その他	7	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	60	—
長期借入れによる収入	1,100	1,000
長期借入金の返済による支出	△609	△628
自己株式の取得による支出	—	△0
リース債務の返済による支出	△53	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	497	321
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	205	218
現金及び現金同等物の期首残高	2,301	2,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,507	2,367

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	4,866	—	—	4,866	—	4,866
紙器	554	—	—	554	—	554
その他紙製品	433	—	—	433	—	433
ポリ袋	—	2,289	—	2,289	—	2,289
その他化成品	—	645	—	645	—	645
その他商品	—	—	3,054	3,054	—	3,054
顧客との契約から生じる 収益	5,854	2,934	3,054	11,843	—	11,843
外部顧客への売上高	5,854	2,934	3,054	11,843	—	11,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,854	2,934	3,054	11,843	—	11,843
セグメント利益又は損失(△)	281	△93	51	239	△304	△64

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△304百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	5,475	—	—	5,475	—	5,475
紙器	662	—	—	662	—	662
その他紙製品	478	—	—	478	—	478
ポリ袋	—	2,251	—	2,251	—	2,251
その他化成品	—	416	—	416	—	416
その他商品	—	—	3,206	3,206	—	3,206
顧客との契約から生じる 収益	6,616	2,667	3,206	12,490	—	12,490
外部顧客への売上高	6,616	2,667	3,206	12,490	—	12,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,616	2,667	3,206	12,490	—	12,490
セグメント利益	518	72	76	667	△286	380

(注) 1. セグメント利益の調整額△286百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。